

What's New From ASCIKU

関西大学科学技術振興会 No.17 May 2009

平成 21 年度総会・表彰式を開催、第 1 回研究会を開催 5 月 16 日 (土)

総会・表彰式

14 時から、当会総会を第 4 学舎 3 号館 4 階 3403 教室において約 70 名の出席で開催しました。寺内会長の開会挨拶に続き、昨年 10 月就任の石川機構長から挨拶の後、議事に移り、事業報告・決算、会則の一部改正、事業計画・予算、役員各議事について、審議の結果、異議なく承認されました。詳細内容は、総会資料をご覧ください。



会長に隅谷哲三氏就任

会則の一部改正の内容は、①名誉会長の新設、②副会長の増員〈現 3 名以内を 5 名以内に増員〉の 2 点で、会長に隅谷哲三氏が就任し、副会長は 4 名体制で臨むこととなりました。寺内氏は平成 8 年から 13 年間に亘り会長を務められ、会の発展向上にご尽力を戴きました。同氏は関西大学校友会会長職として激務の傍ら、当会の名誉会長として引き続き幅広い視点からのリードをお願い致します。

◇名誉会長	寺内 俊太郎	大阪冶金興業株式会社	代表取締役	新設
◇会長	隅谷 哲三	八田工業株式会社	代表取締役社長	新任
◇副会長	石川 正司	関西大学先端科学技術推進機構長		新任
◇副会長	紀和 隆	株式会社紀和マシナリー	代表取締役会長	再任
◇副会長	田中 好孝	ウメトク株式会社	専務執行役員	新任
◇副会長	棚澤 肇	株式会社棚澤八光社	代表取締役社長	新任



表彰 議事終了後、表彰規程による表彰式に移り、平成 20 年度に推薦依頼および募集した次の各賞について、推薦・募集依頼時点の会長である寺内氏から表彰を行いました (所属・資格は昨年度の表記)。

第 6 回目となる「学の実化賞」は、田中成典総合情報学部教授の「時間項を考慮した 3 次元 CAD エンジンの開発」に係る実績および産学連携活動への先駆的な取り組みが評価され、表彰状と田中研究室に賞金 100 万円が贈呈された。

「研究奨励賞」は 3 件 12 名に対する研究活動および産学連携活動が評価され、各々に表彰状と賞金 5 万円が贈呈された。

ビジネス大賞受賞；工学部先端マテリアル工学科・藤井隆嗣氏、タイ・日本国際シンポジウムにおける活躍に対する表彰として、機能性高分子研究室；定司健太氏、藤浦佳奈恵氏、生体材料科学研究室；中井康介氏、環境機能化学研究室；長濱英昭氏、セラミックス工学研究室；山野晃裕氏、産学連携活動の支援に対する

表彰として、プロセスデザイン研究室；岩成賢治氏、廣實佑樹氏、田中研究室；今城彰子氏、機器分析化学研究室；奥村晃司氏、先端高分子化学研究室；上羽未紗氏、南辻 睦氏。

「産学連携賞」として、小林 武化学生命工学部教授と株式会社マツバヤシ (代表取締役・松林良蔵氏) の「硫化物を分散させた環境適応型鉛フリー銅合金『ピワライト』の開発」に係る実績に対し、産学連携活動の具現化であると評価され、表彰状、北斗七星の盾が贈呈された。

さらに、「技術開発賞」は 2 件、株式会社松風 (常務取締役・根来紀行氏・昭 54 学応化・昭 56 院修応、共同研究者・梶 浩行氏・昭 54 学工金) の「歯科技工用光重合器 (アクセルキュア) の開発」、



および大阪熱処理株式会社（研究者・取締役鋼帯本部長・深田則之氏、共同研究者・桂成司氏・昭42学工金）の「帯鋼の冷間圧延から熱処理までの一貫製造システムの開発」の技術開発に係る実績が優れた成果であると評価され、各々に表彰状、八稜鏡の盾が贈呈された。

表彰の発表が纏められたところで、副学長・越智光一化学生命工学部教授からご挨拶を戴き、受賞の各位にお祝いの言葉を戴きました。

表彰の各位に対して、研究・技術開発への今後益々のご活躍と発展をお祈り致します。

また、平成20年度当研究会“迷”講義講師の方々、下間頼一氏、薬師寺正雄氏、戸倉清一氏、松田好晴氏の各氏に対し、寺内氏から次の感謝状をお送りしました。

「先生には、本学工学部創立50周年記念の節目に当たる平成20年度当研究会において、情熱溢れるご講演を戴き、会員を始め大学院生など多くの方々に深い感銘を与えられました。お陰を持ちまして、当会の事業にとりエポックメイキングとなる多大な成果を挙げることが出来、心から感謝を申し上げます。平成21年度総会に当たり、茲に感謝状を贈呈申し上げ、併せて先生の益々のご健勝を祈念申し上げます。」

第1回研究会

平成21年度総会・表彰式の終了後、第1回研究会を大学院生・学生を含め約110名の出席のもと開催しました。

第6回目を迎える学の実化賞ですが、今回初めて受賞記念の講演と、および本学と天神橋筋商店街との交流協定の中から生まれたご縁での講演です。

日時 平成21年5月16日（土）15:35～16:55

場所 第4学舎3号館 4階 3402教室

○講演1 平成20年度振興会学の実化賞受賞記念講演

演題；「u-Japan 戦略のキーとなるCADの現状と課題及び今後の展望」

講師；総合情報学部 教授 田中 成典氏

総務省が策定した「u-Japan 政策」は、「ユビキタスネット社会」の実現を推進しています。

これを受けて、国土交通省では、産業基盤、生活基盤、国土保全を対象にした社会基盤情報の整備・構築（電子国土）とその利活用が謳われ、その中で3次元化情報の利活用を打ち出しています。

田中教授が研究代表の社会連携プロジェクト「関西大学カイザー・プロジェクト」は、建設・土木業界初の汎用3次元CADエンジンの開発を関西大学が提案して、企業9社が研究開発のために出資して立ち上げた画期的なプロジェクトです。さらに、プロジェクトは、産学官教育研究拠点の形成を目指しています。

○講演2

演題；「天満ガラスの再生を目指して『界面結晶化ガラスの活用』」

講師；株式会社ビー 代表取締役 岡本 覚氏

ワインビンカレット、建築用板ガラスや窓ガラス、蛍光管カレットなどの各種廃棄ガラスを用いて光の透過性に優れたりサイクルガラス「界面結晶化ガラス」を開発されました。大理石に似たガラスとして再生し廃ガラスとガラスアートの環境共生を実現されています。職人の街に生まれ育ち、硝子屋、鍛冶屋、大工に囲まれて幼少よりものづくりの環境に恵まれ、現在、大学や企業と連携し素材研究とアートの実現に没頭されていることを、創作作家の熱き志で興味深く語られました。具体例に、ガラスアートと書のコラボレートした「ガラス書」を紹介されました。

[振興会のホームページ](http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/sinkokai/index.html) <http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/sinkokai/index.html>

関西大学 HP からサイト内検索で「振興会」を入力して下さい



ASCIKU 関西大学科学技術振興会

Associative Society for the Collaboration between Industries and Kansai University